

スポーツ健康科学部生・大学院生各位

2020年9月1日以降の磐上館入館と実験室等施設利用について

スポーツ健康科学部・研究科

2020年9月1日からの磐上館入館と実験室等施設利用については、以下に抜粋した本学緊急対策本部の方針（8月19日付）に基づき、フェーズ4の期間（9月20日まで）、以下のルールに則って運用する。

参考：8月19日付 同志社大学緊急対策本部の対応方針（一部抜粋）

[フェーズ4（9月1日（火）から9月20日（日））までの措置]

A. キャンパスへの入構

- ①入構対象となる事由は設定しない。ただし、夏期休暇期間中であることも踏まえ、学内行事、学部・研究科の活動や健康診断等を除き、不要不急の入構抑制への協力を求める。
- ②門衛所での密集、密接を回避するため各キャンパスの中心的な門扉は半分程度開放するが、引き続き大学関係者及び学外者の不要不急の入構抑制への協力を求め、門扉開放の制限を継続する。
- ③京田辺キャンパスにおけるバスの運行制限は、解除する。
- ④感染拡大の予防及び学内での感染者発生時に備え、フェーズ4においても本ガイドライン「1. 基本事項」の4)の対応を求める。

◆本学部・研究科としての対応

1. 磐上館の入館については、必ず学生証または社員証を利用して出入口扉を開錠して入館すること。ただし、事務室開室時間中は正面玄関の自動ドアから入館可能とする。
2. 入館の際には磐上館1階事務室前に設置してある赤外線サーマルカメラで検温し、手指の消毒または手洗いを行い、館内ではマスク着用すること。検温の結果、37.5度以上あった場合は磐上館から速やかに退館すること。
3. 磐上館各部屋の利用はコロナ定員(着席時に前後左右1m以上の間隔を空けた定員)に従うこと（磐上館演習室のコロナ定員は6名）。
4. 施設への入室に際しては、マスク着用、手洗い、3密回避、定期的な換気、必要最小限の時間の利用などの原則を守って安全に利用すること。ドアノブ、共同で使用する物品、パソコンなど頻繁に人の手に触れる箇所は、使用後は可能な限り清拭・消毒するように努めること。
5. 利用者は所用が済めば速やかに退館すること。
6. ヒトとの接触を伴う実験・研究に関しては被験者の検温を必ず行い、実験者はマスクやフェイスガードを着用するなどの感染防止対策に努めて実施すること。
7. 磐上館1階PCコーナー（BJ139）は当面閉室とする。

以上